



発行所 一般社団法人 神奈川県造園業協会 横浜市中区常盤町2-10 伸光ビル2階 〒231-0014 電話 (045) 662-8793 662-1767 FAX (045) 662-4381 年間購読料 3,150円 (郵送料を含む) ただし会員の購読料は会費に含まれています。



http://www.kanagawazoen.or.jp

年頭のあいさつ

(社)神奈川県造園業協会

会長 小山 俊一



新年あけましておめでとうございます。新春を迎えるにあたり謹

んでお慶び申し上げますと共に、造園業界と会員皆様方の事業のご発展とご健勝を心からお祈り申し上げます。

私も会長に就任して一年目の正月を迎え、「より良い協会をつくる」為に決意を新たにしているところでございます。

日本経済も長引くデフレから早期に脱却しようとして、色々な取り組みがなされ、アベノミクス効果により、

一部には景気回復の基調も見られますが、私ども造園業界にとりましては、実体経済は依然として厳しい経済環境の中、昨年は当協会創立四十周年を迎え、記念行事を挙行することができました。これも偏に会員の皆様を初め関係各位のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

五十周年に向けて心を新たに「みどり豊かな景観と街づくり」に、緑の創生、再生、保全を司る専門事業者として全員が一丸となって、協会の使命である造園緑化事業の健全な発展と造園・緑化に関する知識、技術の普及啓発を図り、都市環境の整備及び都市緑化の推進に寄与すると共に、社会貢献活動にも積極的に取り組み、新たな仕事の創設につなげていきたいと思っております。



今泉健壽氏油絵

正月の忍野

今年、①人材育成(後継者対策)をします。②会員確保をします。③技術の継承をします。④園庭、校庭の芝生化推進をします。⑤女性が活躍できる協会をめざします。以上、五つの目標を

もって積極的に取り組んで参る所存でございます。また、二〇一七年には全国都市緑化よこはまフェアが開催されます。二〇一九年は、人気絶頂のラグビーワールドカップ決勝戦が横浜で開催されます。二〇二〇年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、神奈川県では半世紀ぶりに、江ノ島でセーリング競技が決定されています。同時に、黒岩知事が湘南にサーフィン競技を誘致している事も聞いております。国内はもとより海外のお客様が多数お見えになることは、間違いありません。どうか、この機会に造園業者が持っている技術力を発揮できますよう、行政・諸団体と力を合わせ、開催に向けての整備の進展が図られることを期待しております。

また、大変厳しい経済環境の中、皆様と手を携えて、造園業界で働く人々が明るい未来と希望が持てる様当協会の三部会、四委員会の体制づくりと活動の充実に向け、一層取り組んで参ります。どうぞ今年も皆様方のご支援ご指導を賜ります様お願い申し上げます。

かながわの可能性 いのちも地域も 未来も輝く県へ

神奈川県知事

黒岩 祐治



明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとって幸多きものとなりますよう、心からお祈り申し上げます。

私も2期目の県政をお預かりして初めての正月を迎え、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けて、全力を尽くす決意を新たにしています。

の開催都市が、横浜市・神奈川県に決定したこと、そして、東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技会場が江の島に決定したことです。

特にラグビーワールドカップは、昨年の大会で日本代表チームが大活躍したこと、注目度が一気に高まりました。

それぞれの成功に向けて、地元市などと協力しながら、しっかりと準備を進めていきたいと思っております。そして、これらのビッグイベントには、世界中から多くの観光客が訪れます。これは、神奈川の魅力をアピールする絶好のチャンスです。

そこで県は、魅力ある神奈川の海への誘客を促進する「かながわシープロジェクト」、文化芸術の魅力で地域のにぎわいを創出する「マガカル」、横浜・鎌倉・箱根に次ぐ「第4の観光の核づくり」など、世界から人を引きつける神奈川づくりを加速させてまいります。

また、こうした取り組みを後押ししていくためにも、広域交通ネットワークの充実、特に「つながるべき道路」が「つながっている」ことが重要です。

「新東名高速道路」や「高速横浜環状北線」、「横浜湘南道路」などの幹線道路ネットワークの整備を促進し、観光地へのアクセス性を向上させることで、二つのビッグイベントを契機とする効果を広く県内に波及させ、観光客の誘客促進による地域の活性化につなげてまいります。

そのほか、地震防災対策や治安対策などにもしっかりと取り組み、誰もが安心して過ごせる神奈川にしてまいります。

2019年まであと3年です。二つのビッグイベントを契機にこれらの取り組みを強力に推進し、神奈川から経済のエンジンを回していきます。

記
1 日時 平成28年1月12日(火) 午後6時
1 場所 ロイヤルホールヨコハマ
1 会費 男性6,000円 女性3,000円 TEL 045-641-1122



- 新倉 治 監事
- 川田 秀一 監事
- 中島 忠 専務理事
- 井上 由之 理事
- 足立原 哲男 理事
- 富田 茂 弘 理事
- 原部 一郎 理事
- 岡部 賢一 理事
- 清水 賢一 理事
- 古川 健一 理事
- 村木 健一 理事
- 荒井 秀利 理事
- 金子 篤司 理事
- 細野 仁 理事
- 大槁 清己 理事
- 生駒 隆一 理事
- 清水 克己 理事
- 小川 名真 理事
- 松倉 仁 理事
- 小出 正治 理事
- 岸 純一 理事
- 野村 直樹 理事
- 瀧川 隆雄 理事
- 甘利 憲一 副会長
- 高橋 克明 副会長
- 大胡 周一郎 副会長
- 高橋 更一 副会長
- 小山 俊一 会長
- 石川 龍二 相談役
- 岸本 和好 相談役
- 鈴木 一松 相談役

平成28年(2016年) 謹賀新年

一般社団法人 神奈川県造園業協会役員一同



「かながわのみどりを創り、育てる講演会」

くまちなみ景観と街路樹セミナー開催



挨拶する山田支部長



挨拶する荒井道路管理課長

県土整備局
荒井俊晴道路管理課長挨拶

皆様方におかれましては、日頃から緑化行政にご協力を頂き、この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。

街路樹は、都市の中の貴重な緑であります。

また、街路樹は大気汚染をおさえ歩行者への日陰を

はじめ、街の景観向上に多くの役割を担っております。

本日のテーマの一つでございます。街路樹剪定士につきましては、神奈川県内各地で活躍していただい

ております。

最後に皆様方の一層のご活躍と発展を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

「道路緑化技術基準」が二十六年ぶりに改正され、地域の計画との整合等を図り、道路空間、将来を念頭に樹種選定など適切な方法で措置を講ずる事が望ましいとシンプルで分かりやすい内容です。

街路樹剪定士の剪定した街路樹は、非常に美しいと地域の評価は高いです。神奈川県として、今後ますます活躍の場を拡大して行きたいと思っております。

八 管理目標樹形の設定
「道路緑化技術基準」が三月に改正され、今までは画一的でしたが、植栽の健全な育成、計画設計に反映されるよう、管理基準を明確にする。

を考えない植樹
三 住民からのクレーム。看板が見えないとか落葉がどうのと言われ、切られてしまいます。
四 道路管理者・設計者の理解不足。行政区が異なる管理事務所が変わると樹形も違ってしまふ。
五 剪定技術の低下。発注の違いで根の蓄える時期に伐られる。それから、桜の木の手道への根上りです。
六 維持管理予算の削減。
七 評価システム不在。切ったら修正不能。

第一部講演

「美しい街路樹景観を実現する街路樹剪定士」

(社)日本造園建設業協会

野村徹郎技術調査部長

「街路樹剪定士」について、街路樹は、市民に一番近い緑です。本日は、樹木の役割も含めてお話させていただきます。



講演する野村技術調査部長

一 景観向上機能。見苦しい物を覆い隠します。
二 遮光・分煙等。特に分煙は自動車と歩行者の分離に役立ちます。
三 防炎機能。延焼防止のほか、避難時の誘導。倒壊防止等があります。特に災害時に木は目印になります。
四 経済的効果。美しい街で資産価値が向上し経済効果があります。

七 心理的効果。安らぎ・潤いを与えてくれます。
次に「樹形悪化の要因」、
一 不適切な樹種選定や設計。都市部で見られるが狭い植栽場所に大きくなる樹種を植栽したりして
二 厳しい生育環境。植栽基盤。看板とか地下の構造物、電柱等



まちなみ景観と街路樹セミナー会場

観を実現するプロセス」
一 街路樹景観のイメージの共有。住民、道路所有者、管理者、設計者でイメージを共有する。
二 現状の把握・診断。現在どのような状態になっているか、大きさ、樹形をチェックする。
三 管理目標樹形の設定。数年後の目標樹形を設定し道路管理者、住民、施工者による共有。
四 管理目標樹形に向けた育成管理。年次計画による剪定の実施。
五 剪定後の評価。管理目標樹形との比較。
六 継続的な育成・管理。管理目標を設定したら、プロに任せて頂きたい植栽の育成。
次に、「適切な街路樹の管理運営に向けて」
剪定は危険な作業である。高木の剪定作業中の樹木からの転落や、草刈り・芝刈り作業中、資機材・樹木の搬入中の事故が多く、労働災害が発生します。
これは、施工会社にとっても損害で、信用も失墜しますので、道路管理中だけ

Bridal Banquet
Stay Restaurant



ホテル横浜ガーデン

〒231-0023 横浜市中区山下町254番地
お問合せ 045-641-1311
<http://www.yokohamagarden.jp>

でなく、最後まで発注者も施工者も油断せず行つて欲しい。

次に、「街路樹剪定士資格の活用について」
一 特記仕様書等への記載。現場常駐・作業員への指示、事前説明、出来栄の確認・見本剪定等。
二 入札等の参加条件。街路樹剪定士の現場配置、雇用等。
三 入札における評価。加算評価、等級格付。
以上で、「美しい街路樹景観を実現する街路樹剪定士」をテーマにした説明を終わります。

第二部講演

「街路樹の樹冠最大化の効果と課題」

千葉大学園芸学部緑地・環境学科
藤井英二郎教授



講演をする藤井教授

本日は、「街路樹の樹冠最大化の効果と課題」をテーマにお話しをさせていただきます。

また、不透水地の増加や都市型集中豪雨による都市型水害の増加、コンクリート構造物の増加と緑の少なさにより、過剰なストレスと蓄積による心身への負担

地球温暖化・ヒートアイランド、斜面を含む不透水地増加・高層ビルの急増によって、真夏日・猛暑日が増え夜間温度が高くなり、熱中症患者・死亡者が急増している。

次に、「ヨーロッパ、中国、韓国の街路樹」
ロンドンのプラタナス街路樹は、緑陰を維持しながらクリアランス・日照を確保する剪定をし、ローマのプラタナス街路樹は車道側

樹冠最大化による緑陰、生理・心理的效果の検証実験を行ったところ、樹冠が大きい街路樹の印象評価は、樹冠の小さい街路樹より潤いがあり、快適で、交感神経系の心拍変動性も低い傾向で、心拍数も少ないと検証された。

次に、「日本の街路樹の樹冠最大化に向けた実態確認」
樹木は揺れがあることで根が発達する。そのため、過剰な支柱（金属製支柱・地下支柱）は根系の発達を阻害する。また、無剪定・軽剪定・強剪定で、シラカシの根系を比較実験したところ、強剪定は根系、とりわけ太根の発達を阻害し、支持力を低下させる。植栽基盤がよく、強剪定されなければ根系はしっかり展開する。

次に、「都市環境改善・防災機能強化に向けた街路樹の樹冠最大化の課題」
近年の日本の都市環境の変化に応じた管理・運営が必要であり、たとえば官公庁街は十分な植栽基盤整備の必要性、ビジネス街は民間との連携、住宅地は適切な樹種にすることなど、官公庁の街路樹管理者や市民の意識を改善していただき、また、大震災・津波に備えた防災機能強化のために、街路樹の樹冠を最大化にすることが必要である。

以上で「街路樹の樹冠最大化の効果と課題」をテーマにした説明を終わります。

次に、「関東大震災で見られた緑地・樹木の防災機能」
火に囲まれても樹木が多く、上野公園や宮坂前広場は安全であった。
また、関東大震災時の火災の焼止まり要因として、樹木が12・2%をしめており、熱風・火災・火の粉・落下物に対する遮蔽の機能が見受けられる。

次に、「近年の日本の街路樹の実態とその背景」
管理予算削減の中の強剪定（ぶつ切り）、一律な抑制剪定、過剰整備（スチール製支柱、地下支柱等）ぶつ切り剪定は、胴吹きを発生させ、枝の枯死・幹の空洞化、樹勢を低下させ腐朽菌が侵入しやすくなり、倒伏の危険性が増す。スチール支柱はコンクリートの基礎が根系を制限し、幹の肥大に伴って幹に食い込み、金属製地下支柱は、幹と根の損傷・腐朽をさせる。背景として、管理費の削減もあるが、発注者による業者指示の不足、剪定技術の低下、剪定仕様・評価が十分になされておらず、苦情対応の剪定となつている。

次に、「街路樹の機能と、心理的效果の検証結果」
街路樹の機能として生理的機能・物理的機能・心理的機能があり、生理的機能としては、酸素供給や二酸化炭素固定や生物相保全がある。また、物理的機能としては、微気象緩和や日射の遮断、温度や湿度の調整。暴風や飛砂防止また保水や土壌侵食防止。そして、大気汚染物質の吸収や捕捉、遮断や遮光、防火に遮音。マスキング効果、仕切りそして食料や資材供給もある。生理・心理的機能は、生理的疲労の低減や視覚的緊張や違和感を緩和し、また、心理的安らぎを与え景観の美化、意味の表示・象徴として社会的効果がある。一本の樹木が、これらの機能を複合的に持っていることが大きな特徴である。

両講師の講演が終わり、(社)日本造園建設業協会神奈川支部高橋更一副支部長の閉会挨拶により、講演会を終了しました。

神奈川県土整備局道路管理課副課長の挨拶により一日目は、街路樹に関する基本的事項、剪定、病害虫、植栽基盤整備等の講義とケース・スタディ・現地剪

定及び学科試験を行い、二日目の資格認定実技試験はユリノキとエンジュの二樹種を対象に行い、主任判定員及び支部判定員らが安全用具や道具の使用法、適確な剪定技術、出来栄などを厳しくチェックしておりました。



街路樹剪定実技試験

街路樹剪定士認定研修会 日造協神奈川支部

昨年同様平成二十七年度も横浜市金沢区並木・福浦に於いて座学・実技研修と試験が行なわれました。

受講者は、日造協会員十七名・神造協会員五十名、一般六名、聴講員四名・横浜二名、横須賀市一名の八十名でありました。

研修会は、十月十四日、十五日の二日間で座学研修と資格認定試験が実施されました。

神奈川県土整備局道路管理課副課長の挨拶により一日目は、街路樹に関する基本的事項、剪定、病害虫、植栽基盤整備等の講義とケース・スタディ・現地剪



街路樹剪定士認定研修会 座学会場

「みどり行政に関する要望書」 神奈川県及び出先機関へ提出

(社)神奈川県造園業協会と(社)日本造園建設業協会神奈川県支部共同で、九月二十八日と十一月十三日に神奈川県吉川副知事・浅羽県土整備局長・金子環境農政局長・桐谷教育長を始めとする幹部職員に対し平成二十八年度向け要望書を提出し、次の四項目について要望しました。

要望事項として、①景気・環境対策として、計画的な社会資本の整備保全や既存都市公園の再整備、緑地の保全、緑化の積極的な推進を実現するため緑化関連公共事業予算の確保・増加と受注機会の確保について②公園・緑地及び道路、河川、港湾、住宅施設などのおち造園に関わる整備及び維持工事は地域の実情に応じて分離し指定建設業種である造園専門業者に発注を、また、造園技能士等各種資格所有者の技術力の評価と有効活用について③一般社団法人日本造園建設業協会認定の街路樹剪定士の積極的活用と街路樹剪定士を申請者ではなく元請けの条件として仕様書の明記について④校庭及び園庭の芝生化の推進並びにグラウンド基盤の整備を図るための助成措置と芝生化工事及び維持管

理工事の造園専門業者への発注について、前記四項目を造園業界の大変厳しい現状をふまえて要望事項の実現に向けて強く申し入れました。

「国の公共事業予算では、特に維持管理予算に対して、厳しい状況ではあります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいての都市整備があるものと、私も注視しているところであり、都市公園については、新東名、スマートインター、圏央道の近くには都市公園があり、園については、新東名、スマートインター、圏央道の後県土整備局から話があると思いますが、一気とは

民にとつて親しみやすい場として、まだまだ道半ばではあります。借りの力を借りて整備をしていきたい。街路樹剪定士の有効活用については、県土整備局から話を聞いており、この後県土整備局から話があると思いますが、一気とは



浅羽県土整備局長に要望



吉川副知事に要望



桐谷教育長に要望



金子環境農政局長に要望

神奈川造園業協会、神奈川県造園業協同組合、労働保険事務組合との共催による、労働安全衛生講習会を九月三十日、横浜市技能文化会館において、三十名の参加を得て行われました。



肩関節の可動域の維持向上の実技指導

現場作業員の高齢化が進む中、体力の低下や不十分な健康管理が、作業中の転倒による労働災害の大きな要因である。そのため筋力・筋力の維持向上、柔軟性の維持向上など動ける体づくりが必要である。特に人間の筋力は二十歳



講演する肥後講師

テーマに、公益財団法人かながわ健康財団健康づくり課肥後梨恵子講師により講習会がはじまりました。講演では、なぜ、労働災害は起こるのか・労働災害は体力低下が関連しているか・柔軟性の向上が動けるカラダの第一歩を主なテーマで講演があり、なぜ労働災害は起こるのかでは、「人間の要因として作業者の心理的要因・生理的要因・職場の要因があげられ、作業者の心と体の健康管理と職

労働安全衛生講習会を開催

いかないが取り組んでまいります。県立相模原公園の日本庭園の整備をしていただき感謝しています。決して広い庭園ではないが、あ

これを踏まえて十月二十一日と二十二日の二日間には横濱川崎治水事務所をはじめ各土木事務所等県土整備局十一箇所、自然環境保全センター、県央地域農政総合センター等環境農政局七箇所、企業庁水道局寒川浄水場等計十九箇所の出先機関に要望を行いました。

第十五回 親睦ゴルフ 県大会の開催



青木総務厚生委員長挨拶

協会の数少ない親睦会として第十五回目を迎えた今年のゴルフ大会は、十月六日、小田急藤沢ゴルフクラブで行なわれました。参加者七十二名。(会員六十三名・みどりの会議員八名・賛助会員一名)

当日は穏やかな良いお天気の中気持ちよくプレーを楽しんでいました。

林とバンカーが精神的プレッシャーになり、ス

お願ひした沢山の花鉢の香りがパーティ会場を埋め尽くし、また、今回も豪華賞品が多数授与され、優勝者のスピーチも行われ、華やかな秋の1日となりました。

どうぞまた腕を磨いて来年も挑戦して頂きたいと思ひます。幹事の皆様有難うございました。

今年度は、持田みどりの会会長、嶋村副会長、牧島・竹内顧問、桐生常任理事、柳下事務局長、加藤・市川議員にご参加いただき有難う御座いました。

今年度は、持田みどりの会会長、嶋村副会長、牧島・竹内顧問、桐生常任理事、柳下事務局長、加藤・市川議員にご参加いただき有難う御座いました。

コアも全体的に厳しいものがありました。

優勝は神奈川県支部早坂清昭氏、準優勝は本部岡田茂樹氏、第三位は県支部吉川章氏が入賞し、栄えあるベストゴルフ賞はグロス八十一で県央支部蛭田秀生氏を受賞いたしました。

●会員名簿の変更● (平成27年度名簿)

新入会員

○旭支部
(株)仁縁
〒241-0822 横浜市旭区さちが丘25-31
代表者 堀江栄作
TEL番号 045-362-3310
FAX番号 045-362-3310

○戸塚支部
(有)大川園芸
〒245-0017 横浜市泉区下飯田町463
代表者 大川康夫
TEL番号 045-802-5411
FAX番号 045-801-4701

社名変更

○緑・東支部 (会員名簿P.26)
今西園→庭匠今西園

住所変更

○鶴見支部
(有)鶴見緑化 (会員名簿P.23)
〒226-0002 横浜市緑区東本郷4-13-21 B-102
TEL・FAX番号 045-471-1778

FAX変更

○金沢・磯子支部
(有)福利園建設(株) (会員名簿P.40)
FAX番号 046-849-2284

○湘南西支部
(有)秦野植木センター (会員名簿P.59)
FAX番号 0463-80-8801

代表者変更

○金沢・磯子支部
(株)ニッパツサービス (会員名簿P.41)
代表者 木村文昭→瓜生誠二郎

○川崎北支部
田邊園 (会員名簿P.47)
代表者 田邊勇夫→田邊圭一

○湘南西支部
(有)瀬戸造建 (会員名簿P.58)
代表者 瀬戸操→瀬戸均

○県央支部
(株)厚木植物園 (会員名簿P.61)
代表者 大村春藏→大村英之
(有)鈴木造園土木 (会員名簿P.62)
代表者 鈴木俊雄→鈴木重信

=名簿の訂正をお願いします=

○川崎北支部 (会員名簿P.48)
社名 (有)斎藤造園→(有)斎藤造園
代表者 斎藤勝美→齋藤勝美

○横須賀支部 (会員名簿P.51)
社名 日高エクステリアサービス
代表者 日高志郎→日高志郎

神造協ブースでは、展示



十一月十五日(日)に横浜
市技能文化会館・大通り

第十八回 横浜マイスターまつり 開催される



技能まつり等の一つ一つの取組みが伝統的技術の継と広がりにつながればと思います。



実演として一級、二級の技能検定実技試験実施写真の展示、庭園や各種竹垣製作写真のパネル展示、希望者を対象に四つ目垣の立子の結束講習、竹製の花器販売、花の種の無料配布、造園・園芸相談等が行われました。

第三十六回 「よこはま技能まつり」に参加

このまつりは、毎年横浜マイスターが一堂に会し、「匠の技」を披露することにより、日本人が忘れかけていた技能をいつの時代にも語り継ぎたいとの思いで開催されております。

当日は、あいにくの天候のため、当初大通り公園での会場予定でありましたが、横浜技能文化会館一階にて、当協会の荒川昭男マイスターが黒松の手入れ、剪定実演、刈込の扱い実演と庭に関する小話・京都

表彰コーナー

の名物石についての講演を行い熱心な質問・相談を受け好評を得ました。

神奈川県

優秀技能者 川田秀一 川田造園

横浜市

技能功労者
宮沢一男 宮沢造園
金子宏正 金寿興産(株)
佐藤三代治 (有)佐藤造園企画
小間好幸 (有)小雀園芸

川崎市

優秀技能者 松島由和 (有)松島造園
吉垣義光 (有)庭科産業
優秀青年技能者 齋藤源太郎 ダイシ造園(株)

病害虫防除 講習会 開催のご案内

「農業の適正使用と安全管理・住宅地における公園・街路樹等の防除技術」について

当協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催で第二回病害虫防除講習会を左記のとおり実施致しますのでご参加ください。ようご案内いたします。

第2回講習会

日時 平成二十八年二月
四日(木) 十三時
三十分から

会場 神奈川県農業技術センター
多目的ホール

定員 百五十名

なお、詳細は神造協ホームページに掲載しております。

事務局情報 (月間行事一覧)

●諸会議その他●

12/1 (火)	情報委員会 14:00~
12/5 (土)	第8回技能士コース 9:00~
12/9 (水)	協会三役・支部長会正副会長会議 12:00~ 支部長会議 15:00~
12/12 (土)	第9回技能士コース 9:00~
12/14 (月)	公園緑地部会マイナンバー講習会 13:00~ 協会理事会 15:00~
12/17 (木)	公園緑地部会 16:00~
12/19 (土)	第10回技能士コース 9:00~
12/22 (火)	神奈川県事業内職業訓練事業補助金遂行調査
1/5 (火)	御用始め 新年造園人の集い (品川プリンスホテルアネックスタワー) 18:00~
1/9 (土)	第11回技能士コース 9:00~
1/12 (火)	神奈川県造園人賀詞交換会 (ロイヤルホールヨコハマ) 18:00~
1/13 (水)	J A横浜植木部持寄り品評会表彰式 (ホテル横浜ガーデン) 16:30~
1/16 (土)	第12回技能士コース 9:00~
1/23 (土)	第13回技能士コース 9:00~
1/30 (土)	第14回技能士コース 9:00~

支部だより

鶴見支部青年部 石灯笼講習会 鶴見支部青年部長 中西 隆之

鶴見支部青年部では、平成二十七年十月四日、港北区新羽町にある中丸園、中丸一夫氏に講師をお願いし、参加者十二名にて、石灯笼、石塔、石材等の講習を行いました。



中丸邸にて

その他、数寄屋造りの建築方法、樹木名称や苔の生育等も学びました。近年、灯笼を扱う機会も減り、携わる機会も減っていく中、貴重な話や体験を得ることが出来、実りある講習になったと思います。この講習を機に、更なる興味と知識を持ち、今後に



部位の名称、彫刻の意味を学ぶ



さまざまな材質を学ぶ

生かして行きたいと思えます。

名木古木研修

戸塚支部 情報委員
木下 透

平成27年10月3、4日にかけて戸塚支部では恒例の「名木古木視察研修会」を行いました。

平成25年、26年と続けて千葉県方面を視察しており、今回はその3回目として袖ヶ浦から勝浦にかけての1帯を支部会員・青年部員計14名参加で周りました。

アクアラインから半島を横断し、まず勝浦にある高照寺のイチヨウを見学しました。乳イチヨウと称されるように無数の乳柱があり大火で主幹を失いながらも樹齢千年の貫禄は十分で、

一部では墓石を飲み込みながら成長していました。

次の目的地「上野村の大椎」への到着直前に一頭の子鹿がバスを横切る場面があり、「いや、あれは今話題のキョンに違いない。」などと盛り上がりました。

今は住職の居ないひっそりとした寂光寺に一人立つスダジイの大木は幹周9.5M樹高21Mの見事な木でした。同じ鴨川市内の天津神明宮では「マルバチシャノキ」を鑑賞しました。千葉県が世界的な分布の北限地と言われ、個体数が少ない中で樹齢200年の古木は稀少です。初めてこの木に触れる会員もいたらしく、

翼朝は君津市の岩田寺でイヌマキを見ましたが、本堂裏にあるスダジイも見応えがありました。次に訪れた円明院では庭の改修工事が行われていて同業者の石積み作業に足を止め、墓地の一角に安岡力也氏の墓石を見つけ手を合わせる場面を感じさせる樹齢九百年のイチイが立派でした。

く、葉っぱに無数に生えているトゲや色づいた実にも興味津々のようでした。

少し内陸部に進み清澄寺の大杉(樹高47M、目通り15M)を見学した後、対向車が来たら絶対に交わせないであろう狭い山道を通って宿泊地である養老渓谷でバスを降りました。温泉と楽しい宴会のあと、栗又の滝(別名・養老の滝)の音を聞きながら床に付きま

も立っていました。土地の広い千葉県とは言え近隣の理解が無くては維持できないでしょう。ひとたび失ってしまったら二度と取り戻せない大切な空間が、これからは巨木を大切に思い守る地盤に支えられて継続するよう祈るばかりです。

両日とも晴天に恵まれ、海ほたるパーキングエリアの清々しい景色に見送られて帰路につきました。いつも名木古木研修会には青年部員が下見・事前調査、お寺や民家へのご挨拶から資料作成等まで尽力してくださり、そのお陰で今回も道中スムーズに進行することが出来たことを感謝と共に申し添えておきます。



円明院 イチイ 集合写真



大竹神社 スダジイ



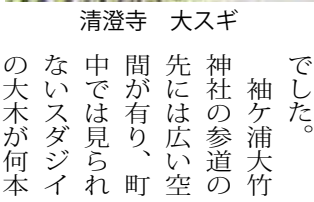
天津神明社 マルバチシャノキ



寂光寺 スダジイ



養老の滝



清澄寺 大スギ

袖ヶ浦大竹神社の参道の先には広い空間が有り、町中では見られないスダジイの大木が何本

研修旅行琵琶湖周辺

湘南東支部 情報委員
犬山 清史

毎年恒例の湘南東支部の研修旅行、今年は9月13日から14日、琵琶湖周辺へ参加者12名で行いました。小田原駅より新幹線で京都駅へ、そこからバスに乗り滋賀県大津市へ向かいました。

比叡山延暦寺の東の麓に広がる坂本地区では延暦寺の里坊のみならず、神社や民家などに古い石塀が見られます。「六太衆(あのうしゅう)積み」と呼ばれるこの野面積みは比叡山の土木営繕的な御用を勤めていた六太衆によるもので、バスを降りた時から日吉大社に続く里坊地帯の美しい石垣が迎えてくれました。

最初に訪ねた旧竹林院は比叡山延暦寺の里坊(僧侶の隠居所)のひとつで、園内には国指定の名勝庭園があります。近くの大宮川から引き込んだ水を使った流れや滝組、地形を巧みに

活かした庭園は主家の二階から眺めることが出来ます。神奈川では育てるのが難しい苔類が多用されているのは環境の違いもあると思いますが手入れも行き届いているのだと思います。その後、ケーブルカーで比叡山延暦寺を参詣し、日吉神社のお社を巡り、琵琶湖近くのホテルに宿泊しました。

翌朝もいい天気となり、各自琵琶湖沿いを散策などして朝食後水郷として有名な近江八幡に向かいました。ここでは近江八幡観光ボランティアガイド協会のガイドさん(てんびんガイド)に案内をお願いしました。豊臣秀吉の甥・秀次が八幡山に城を築き、その城下に掘られた八幡堀はかつて物流ルートや生活の場としての役割を果たしていました。しかし高度成長期にはヘド口がたまり埋め立て



六太衆積みの石垣



旧竹林院

の危機にあったそうです。その後市民、行政の連携で堀割は復活し、この日も多くの観光客で賑わっていました。また近江八幡は国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けており、永原町通りや新町通りの旧市街地に近江商人の商家の町並みが残っています。現在でも住宅として利用され中を見ることが出来ないお家もありますがカフエや土産物屋として活用されています。近江牛やスイーツなどのグルメも楽しめ、歴史的遺産に新しい文化が加わって賑わう近江八幡のまちづくりは地域再生の事例として参考になりました。



集合写真



八幡堀



近江八幡市街地

昼食後、近年ゆるキャラで有名な彦根城を訪ねました。急な階段を上り、天守から眺める琵琶湖や彦根市街を眺めて当時の将軍気分になりました。彦根城内には近江八景を模してつくられたとされる縮景園・玄宮園もあり、単に観光地としてだけでなく造園人として訪ねるにも魅力のあるお城でした。

今回訪ねた場所は平日にも関わらずどこも観光客で賑わっていました。外国人だけでなく国内からのお客さんもたくさん来ています。私たち造園の仕事はどうしてもお庭や公園など限られた空間の限られたお客さんを対象とすることが多いような気がします。政府は観光立国を掲げ日本の魅力をアピールしようとする意気込みは素晴らしいですが、我々造園界も視野を広くして地域と共に発展していくような環境づくりに積極的になるべきだと感じた研修旅行でした。